

事務事業名 市民（旧女性）大学講座補助事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：625

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090601-12-00
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画																																																																																								
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）																																																																																												
市民			女性の地位向上のため、地域婦人会において行う市民（旧女性）大学講座を支援するため、補助金を交付する。  【補助金交付の流れ】申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告  【市民（旧女性）大学講座の内容】生涯学習センター（館外を含む）、二日市コミュニティセンター、勤労青少年ホームにおいて、以下の事業等を展開。 書道教室、ハワイアンフラダンス、社交ダンス、コーラス、日舞、洋裁教室、卓球、等 また、青少年支援事業として、「平成つくし『寺小屋』」を開催し、小中学生書道教室、そろばん教室を実施。																																																																																												
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）																																																																																												
実用的なものから趣味的なものまで多面にわたる講座を開催し、その資質や能力が向上することにより、女性の地位向上につなげる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果指標名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>02年度</th> <th>03年度</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th>07年度</th> <th rowspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座数</td> <td>講座</td> <td>27</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>27</td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>人</td> <td>130</td> <td>121</td> <td>300</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標	実績	実績	当初	要求	計画	計画	講座数	講座	27	19	27	27			40	受講者数	人	130	121	300	300			400																																																						
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標																																																																																							
		実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																								
講座数	講座	27	19	27	27			40																																																																																							
受講者数	人	130	121	300	300			400																																																																																							
5. コスト			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">計</th> <th rowspan="2">千円</th> <th>02年度</th> <th>03年度</th> <th>04年度</th> <th>05年度</th> <th>06年度</th> <th>07年度</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>当初</th> <th>要求</th> <th>計画</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>県</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般</td> <td>千円</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>270</td> <td>270</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人工数</td> <td>人工</td> <td></td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正職員人件費</td> <td>千円</td> <td></td> <td>803</td> <td>792</td> <td>773</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(事業費+正職員人件費)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>903</td> <td>892</td> <td>1,043</td> <td>270</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						事業費	計	千円	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	実績	実績	当初	要求	計画	計画		国	千円		0	0	0				県	千円		0	0	0				地方債	千円		0	0	0				その他	千円		0	0	0				一般	千円	100	100	270	270			正職員人工数	人工		0.1	0.1	0.1				正職員人件費	千円		803	792	773				トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		903	892	1,043	270		
事業費	計	千円	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度																																																																																							
			実績	実績	当初	要求	計画	計画																																																																																							
	国	千円		0	0	0																																																																																									
	県	千円		0	0	0																																																																																									
	地方債	千円		0	0	0																																																																																									
	その他	千円		0	0	0																																																																																									
	一般	千円	100	100	270	270																																																																																									
正職員人工数	人工		0.1	0.1	0.1																																																																																										
正職員人件費	千円		803	792	773																																																																																										
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円		903	892	1,043	270																																																																																									
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）			<table border="1"> <tr> <td>あがっている</td> <td rowspan="3">講座の内容は、カルチャー的なものから、青少年健全育成支援、男性対象の講座も開設し、各種ニーズ、地域の活性化に取り組んでいる。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばあがっている</td> </tr> <tr> <td>あがっていない（停滞・低下）</td> </tr> </table>						あがっている	講座の内容は、カルチャー的なものから、青少年健全育成支援、男性対象の講座も開設し、各種ニーズ、地域の活性化に取り組んでいる。	どちらかといえばあがっている	あがっていない（停滞・低下）																																																																																			
あがっている	講座の内容は、カルチャー的なものから、青少年健全育成支援、男性対象の講座も開設し、各種ニーズ、地域の活性化に取り組んでいる。																																																																																														
どちらかといえばあがっている																																																																																															
あがっていない（停滞・低下）																																																																																															
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			<table border="1"> <tr> <td>対象動向</td> <td>維持</td> <td>類似事業</td> <td>あり</td> <td rowspan="5">類似事業として、小地区公民館やコミュニティセンター等で開催している各種講座事業があるが、本事業は、女性の社会参画を目的としている事業であるため、その必要性は高いものと考えている。 また、若い世代の育成（青少年育成支援事業）に、力を入れている。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスにより活動自粛があったため、例年よりも減額された補助金申請が行われた。</td> </tr> <tr> <td>手段効率化余地</td> <td>なし</td> <td>コスト削減余地</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>公的関与</td> <td>妥当性がある</td> <td>受益者負担</td> <td>余地なし</td> </tr> <tr> <td>上位貢献度</td> <td>影響度は中</td> <td>業務推進課題</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地</td> <td>中程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、小地区公民館やコミュニティセンター等で開催している各種講座事業があるが、本事業は、女性の社会参画を目的としている事業であるため、その必要性は高いものと考えている。 また、若い世代の育成（青少年育成支援事業）に、力を入れている。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスにより活動自粛があったため、例年よりも減額された補助金申請が行われた。	手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし	公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし	上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり	成果向上余地	中程度																																																																				
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、小地区公民館やコミュニティセンター等で開催している各種講座事業があるが、本事業は、女性の社会参画を目的としている事業であるため、その必要性は高いものと考えている。 また、若い世代の育成（青少年育成支援事業）に、力を入れている。 令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスにより活動自粛があったため、例年よりも減額された補助金申請が行われた。																																																																																											
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし																																																																																												
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし																																																																																												
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり																																																																																												
成果向上余地	中程度																																																																																														
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性 維持 見直し 廃止 事業終了																																																																																												
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			<p>婦人会としても講座生の増加を課題としており、令和元年度は自治公民館へパンフを配布するなど、講座生募集に力を入れている。引き続き支援を行う。</p>																																																																																												
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄																																																																																												
昭和47年の中央公民館の開館に伴い、学習環境が整ったことを受けて、事業を開始した。			趣味講座に留まることなく、生涯学習の理念と社会的情報の提供。女性の地位向上とジェンダーフリーの視点で、教室リーダーを中心に学習を開催している。 青少年健全育成支援事業への力を入れている。																																																																																												